

# 町政を問う!

## 一般質問 11議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。

### 日坂和久 議員

1. 町役場の組織改正等により町民への行政サービスはどうか
2. 移動困難者への移動支援について

### 小川唯一 議員

1. 鳩山町健康マイレージ事業について
2. 交通量と信号待ち時間
3. 庁内組織改正と現状

### 大賀広史 議員

1. 子育て支援（ファミリーサポートセンター）
2. 教育行政（児童・生徒の安全）
3. 地域公共交通
4. （仮称）鳩山新ごみ焼却施設

### 関根清隆 議員

1. 地域包括ケアシステムについて
2. 鳩山町への移住推進戦略の立案とプロモーションの提案
3. 広報と各種チラシの合本化提案

### 松浪健一郎 議員

1. 尿一滴でがん患者かどうか識別できる「N-NOSE」について
2. （仮称）鳩山新ごみ焼却施設の工事が中断していることについて

### 野田小百合 議員

1. ゴルフ場等における農薬の使用について

2. 学校給食について
3. 選挙公報について

### 石井 徹 議員

1. 高齢者の運転免許証自主返納支援について
2. 集住化住宅整備基本計画について

### 中山明美 議員

1. 発達障害について
2. 災害対策について
3. 公有財産利活用について

### 石井計次 議員

1. ふるさと納税について
2. 指定管理者制度の見直しについて
3. 財源確保策について
4. 外部資産について

### 根岸富一郎 議員

1. デマンドタクシーの改善について
2. 暑さ対策について
3. 災害時の避難勧告の基準について
4. 太陽光発電設置工事等と建設残土持ち込み規制について

### 小峰文夫 議員

1. 赤沼地内の沼の路肩について
2. 赤沼集落センター改修工事について
3. 今宿集会所について
4. 納涼夏祭りについて

## 組織改正

### 組織改正の目的は行政サービス向上だが

### 課題を捉え段階的に改正をおこなう



日坂 和久 議員

**問** 組織改正で職員数が減り仕事量は増える。職員の疲弊がひいては行政サービスの低下に繋がる恐れがあるため伺う。職員の意見「括弧内」に対する上層部の見解は、「組織改正はしたが、職員の意識改革はしていない。各自の仕事だけ抱え込んで連携・共有しようとしなさい。担当が不在だと問い合わせにも回答できないことがある。」見解を伺う。

**答** 連携は課題のひとつだ。改善する。

**問** 「特定の職員に仕事が集まっている。標準化のマネジメントすべき人間が役割を果していない」の見解を伺う。

**答** 平準化は必要。チーム力・グループ制の意識を持たせる。

**問** 「事業見直し計画成立後の組織改正がよかった」「職員減なので、新規事業、要望対応も限られる」「建設的・発展的アイデアは出せないし、サービス向上の余裕もない」「職員減でなく、事



業見直しで効率的な予算執行を図るべき」これらに対し見解を伺う。

**答** 職員削減は早い段階から計画的にやる。職員の意識改革にも取り組む。

**問** 「時間外勤務命令簿と実際の時間外勤務に乖離がある。サービス残業はしようがないと諦めている」については、いかに把握しているか。

**答** 職員によって能力の問題、仕事に対する考え方の問題がある。判断できない。

**問** 組織改正は、行政サービスの向上が大きな目的だ。職員の疲弊によるサービスの低下は、絶対に避けなければならぬが、いかがか。

**答** その点も踏まえて段階的に組織改正をして行く。

小川 唯一 議員



交通量

時代に合った信号の待ち時間を

判断は警察が行う

健康マイレージ事業

**問** 事業の狙いは何か。

**答** 健康寿命の延伸のため、自分に合った運動を継続し、健康作りに対する意識の向上を図る。

**問** 参加者数は。

**答** 9月1日現在、259人で、今年度、300人を目標とする。

**問** 歩数データ送信端末の設置場所の検討は。

**答** 現在8カ所。あと2カ所設置を予定している。

**問** 字別、企業別の参加を促し、その集計はできないか。

**答** 今後、検討させていただきます。

**問** 歩数計の値段は高くないか。

**答** 本事業を継続するために、最小限の負担として、歩数計の代金は頂く。

**問** 交通量と信号待ち時間

**問** 信号の待ち時間はどのように決まるのか。

**答** 警察署と埼玉県警察の調査結果をもとに決定。

**問** 石今橋南交差点で、

通勤時に渋滞すると聞くが。

**答** 町は要望するが、判断は警察が行う。

**問** 大橋交差点も待ち時間が長いと聞くが。

**答** 交通死亡ゼロを続けられるよう検討する。

**問** 社会福祉協議会の職員の見直しが必要と思うが。

**答** 財政状況を考慮しながら、見直しをしていく必要がある。

**問** 社会福祉協議会から、増員、予算の増額の要望はあったか。

**答** 要望はあった。



通勤時に渋滞する大橋交差点

(仮称)鳩山新ごみ焼却施設

4年後の供用開始に向けての決意を

地元の安心安全に全力を挙げて取り組む

ファミリーサポートセンター事業(子育て支援)

**問** 国・県の補助を利用すれば、地域間交流のために実施可能では。

**答** 援助会員の掘り起しが課題だが、学童や習い事への送迎など、有効な事業だ。PTA間の支え合い等も含めて、子育て会議等で検討を進める。

**問** 町内施設の対応は進んでいて安心した。通学路上の住宅ブロック塀は、倒壊の危険箇所がある。緊急に調査の実施を。

**答** 警察・教育委員会による合同巡回点検は行った。調査については、保護者等の協力のもと、学校と連携して進めたい。

**問** 刺股(さすまた)・U字型の金具に2メートル程の柄がついた防犯安全器具)等の配置・防犯対策は。

**答** 各小中学校に配置済みであるが、適正な数や対策等を研究していく。

**問** 今年度の会議はい

まだ開催なし。町民参加の会議はどうなったのか。

**答** 組織改正などの影響もあり、何カ月も遅れてしまったことをお詫びする。今後の予定は9月中の会議で調整する。

**問** 再編実施計画の国への申請はどうなった。

**答** 埼玉運輸支局に事前協議に行ったが、今回も認定されない状況だ。

**問** 鳩山新ごみ焼却施設

**問** 工事の一時中止のいきさつを伺う。

**答** 地元との協定書が締結できずにいた事から、一時中止となった。なんとか地元の皆様のご了承をいただき、8月5日に調印できたので、組合が再開を通知したところだ。



大賀 広史 議員



(仮称)鳩山新ごみ焼却施設(完成イメージ)

介護・福祉事業

将来の地域包括ケアシステムは

新規介護施設計画はない、介護予防に重点



関根 清隆 議員

介護施設・人材不足は

**問** 平成37年度には要支援・要介護の数が877人と推定、要支援2〜要介護5の人数は約500人、町内の長期滞在可能な施設は約300人までで200人分不足。加えて首都圏からの利用者流入、入所の長期化により、ますます不足分が増大すると予想される。新設が必要ではないか。

**答** 現在の利用率から推定すると、平成37年度の居住系施設利用者は320人分が必要となる。平成32年度までの計画では新設予定はない。

**問** バリアフリーでない自宅での介護は。

**答** 地域包括支援センターを中核とし、周辺施設を含めた拠点を中心に介護・在宅介護・介護予防・生活支援の体制強化を推進し、特に介護予防に重点を置いている。

**問** 介護人材不足は。急務と考えている。県としても介護人材確保定着促進事業等さまざまな事業を展開している。

移住推進戦略

**問** 不動産業者・住宅サイトとの協業は。

**答** 埼玉県宅建物取引業界等と打合せを行い、一方、鳩山町のHPに『鳩山町で暮らす空き家バンクナビ』を開発し、移住希望者の誘導を図っている。スーモ等住宅サイトへの掲載費用は、100万〜200万円。

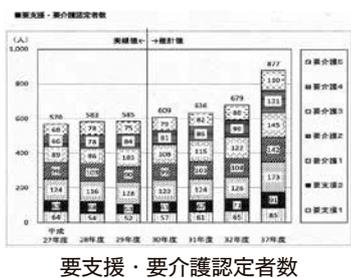
広報・各種チラシ合本化はとまるマップ充実提案

**問** 合本化で利便性を高め、節約できないか。

**答** 発行周期や期日等異なり、合本化が難しい。費用削減は期待できない。

**問** はとまるマップを充実し全戸配布提案。

**答** 更新が多く、要求に応じてお渡しすることとした。



ガン検査

「N-NOSE」の早期運用を

情報収集に努める



松浪健一郎 議員

尿一滴で、ガン

**問** 患者かどうか識別出来る(株)HIROTSUBAイオサイエンスと日立が共同で開発している線虫ガン検査自動解析装置「N-NOSE」について、埼玉医大も研究に協力しているようだ。町も(株)日立製作所基礎研究所が地元にあるのだから、早期に検査できるように働きかけは出来ないか。また、検査施設の場所を探しているようであれば誘致出来ないか。

**答** 「N-NOSE」とは、九州大学大学院助教の廣津崇亮氏が立ち上げたベンチャー企業である(株)HIROTSUBAイオサイエンスが開発した検査方法で、体長1ミリの細長い生物である線虫の臭いを嗅ぎ分ける能力を利用し、線虫が尿に含まれるガンの臭いに反応し、ガン患者の尿には近づく一方、健康者の尿からは逃げるという特性を利用して、ガンの有無を判定する検査方法。ガンの検査方法は様々ある

が、この「N-NOSE」は18種類以上のガンの種類の検出が可能で、ステージ0、ステージ1のような早期ガンも高感度に検出出来る、世界初の1次スクリーニング検査として期待されている。

現在は、共同研究を行っている20力所の大学及び病院に臨床実験の協力を得ながら、2020年実用化に向けた研究段階だが、多くの検体を解析する場所がないため、どのような場所でのように導入されていくのか、新しい検査施設の必要性も含めて、今後も引き続き情報収集に努めていきたい。



(株)日立製作所基礎研究所

野田小百合 議員



ゴルフ場農薬散布

町独自ゴルフ場水質検査の継続を

検査を実施し、監視及び確認する

問 鳩山町環境保全条例に規定されている無農薬管理を、町はどう考えるか。

答 芝の無農薬管理を推進していくことが必要。条例に基づく管理を目指して働きかけていく。

問 グリホサート成分農薬の使用を控えるよう、お願いできないか。

答 世界的な環境基準の中で、危険性が高いと指摘されている。使用計画書に記載があれば、使用を控えるよう指導する。

問 町実施のゴルフ場農薬水質検査の今後の方針はどのようか。

答 水質検査を実施し、各ゴルフ場が行う農薬散布の排水等への影響について、監視及び確認する。

問 住宅地等での農薬散布について、町の考え方はどのようか。

答 散布を知らずに、土地に立ち入ったり、散布時に飛散があった場合など、健康被害につながる可能性もある。「農薬の適正使用に関するお知らせ」を「広報はとやま」

に年1回掲載。今後、ホームページにも掲載、県作成チラシ配布も検討する。

問 地場産野菜の利用状況はどのようか。

答 米は100パーセント鳩山産キヌヒカリ。埼玉中央農協鳩山直売所及び町内の就農者団体である給食出荷会から購入。

問 強化磁器食器も導入されたが、使用状況はどのようか。

答 家庭で使用する茶碗のような使い心地で好評。破損は思ったより少ない。



学校給食の食器は1とんがついたご飯茶碗は強化磁器

免許証自主返納

高齢者の自主返納で町の支援は

今後、関係課と協議し検討する

問 運転免許証自主返納支援の支援は。

答 特に自主返納に特化した施策はないが、返納後の移動手段として、町内循環バスやデマンドタクシーの活用をしていただきたいと考えている。

問 近隣自治体では、特化した施策を実施しているが、今後当町での取り組みは。

答 近隣自治体で実施しているところも財政負担が課題となっている。当町についても、財政負担を考慮し、現状の町内循環バスやデマンドタクシーの利用周知、並びに埼玉県のシルバーサポート制度を充実させ、自主返納の環境を整備したい。

問 自主返納者の目に見える支援策や、町内循環バス、デマンドタクシーの夜間、休日の運行を提案するが。

答 関係課とまずは協議をさせていただき、検討したい。

問 集住化住宅基本整備計画の経緯は。

答 北部活性化ビジネスの課題である亀井小学校児童数、および定住人口の減少への対応として策定。32年度以降の取組計画の内容は。

問 以前の子育て支援住宅整備計画との関連は。

答 23年に策定した計画で、ワークショップや北部地域全世帯に意識調査等を実施し、この成果をベースに、集住化住宅基本計画を作成した。

問 以前の子育て支援住宅整備計画との関連は。

答 23年に策定した計画で、ワークショップや北部地域全世帯に意識調査等を実施し、この成果をベースに、集住化住宅基本計画を作成した。



自主返納時申請可能な運転経歴証明書

中山 明美 議員



公有財産

町民検討委員会の設置は

12月ごろを予定している

**問** 公有財産利活用及び施設管理運営の検討についての考え方は。

**答** 民間活力の導入による地域活性化、町の財源の確保及び維持管理経費の縮減を図り、公有財産の利活用によって生み出された収入等を今後のまちづくりに役立てていく。施設の管理運営についても、民間企業の持つノウハウや資金を積極的に導入し、施設の整備や管理の財政負担の軽減とサービス水準の向上を図る。

**問** 町民検討委員会はいつ設置されるのか。委員のメンバーは。

**答** 12月ごろに設置し、町で作成した基本方針案等を諮問し、具体的な施設の管理運営のあり方の方向性も含めて、協議していただく予定。委員は15人以内。識見者、関係団体を代表する者、公募委員。

**問** パブリックコメントや町民への説明会のようなことは実施するのか。

**答** 町民検討委員会で



いずれ棚にならぶであろう国内産《液体ミルク》

協議している内容に対するワークショップ等の実施を考えている。パブリックコメントは、町の基本方針案を町民検討委員会と協議した結果を踏まえた基本方針案の段階で行う予定である。パブリックコメントの意見を町民検討委員会で協議して、最終的に町長に提言する。

**災害対策**

**問** 清潔な水や燃料の確保が難しい災害時に液体ミルクを備蓄品に加えてはどうか。

**答** 様々な安全性の調査等が必要となるため、市販までは1年以上かかる見通しと言われている市場に出回ってからの保存期限や価格等をよく確認して、前向きに購入するように検討する。

事業の見直し

ふるさと納税はやめるべきでは

減収分を減らすよう検討したい

石井 計次 議員



**問** ふるさと納税については、スタート段階から制度設計に欠陥があると強く感じている。そもそも自治体間に税

が流れていくこと自体、理解しがたい。本町の住民税損失額を伺う。

**答** 平成29年度町への納税は148件、442万5100円。鳩山町民が他の自治体へ寄付した金額は748万6215円、これにふるさと納税返礼品の経費を加えると568万4850円の赤字となっている。

**問** 継続するなら、赤字が縮減できる改善策はあるか伺う。

**答** 魅力的な返礼品を用意しなければ、寄付金は集まらない。返礼品の競争に参加しないと寄付金以外の自治体に行くだけなので、減収分を減らす意味でも、現在の取りくみを再検討し、見直しをしたいと考える。

なお、県内には、所沢市や川口市のように、返礼品を廃止し、ふるさと

や自治体を応援したい制度本来の運用に戻す自治体もある。

**問** 町では、ふるさと納税により、住民税が損失しているにもかかわらず、税務課では、控除申請に時間・労力を費やしていると考えますが、実質どのようなか。

**答** ふるさと納税に該当するか否か、税務署へ閲覧に行く。閲覧には予約が必要で、税務署の都合が優先される。予約ができた日は、1日中税務署でコピーをして、夜間に修正入力するつらい作業をしている。



ふるさと納税返礼品（一例）

根岸富一郎議員



デマンドタクシー

9時台の混雑解消を

数日前の午後予約をすすめる

デマンドタクシー

**問** 9時台の予約が混雑している。解消できないか。

**答** 試しに午後予約をすすめる。また、来年度の委託契約で、人数増などを精査したい。

暑さ対策

**問** 町内の熱中症の状況はどうか。「暑さ」の考え方を考えてもらう必要はないか。

**答** 7〜8月、熱中症で町内から救急搬送が13人のうち10人が高齢者だった。

「考え方を変える」とことはむずかしい。要望があれば出向いている。

**問** 近所の人が突然、戸締りになつたらどうすればよいか。

**答** 個人情報保護内で長寿福祉課が対応する。

避難所

**問** 避難所は、エアコンなど整備されているか。

**答** 指定施設18の中で、介護施設等5指定避難所は、エアコン・風扇・シャワーが整備されている。小中学校等の体育館

はエアコン等が整備されていない。

**問** 金谷川(かなやつがわ)と越辺川の合流地点の整備計画はあるか。

**答** 越辺川の整備計画があるので、早期実現を県に要望する。

太陽光発電設置の要綱

**問** 太陽光発電設置の要綱を住民へ周知徹底すべきではないか。

**答** 町に説明や相談を求められれば、出向く。

**問** 農家の収入は少なく、病気にでもなれば、土地を売ることもあるが。

**答** 同意書は求めている。地域と話し合いをしてほしい。

予約を受け付けるオペレーター



納涼夏祭り

新鳩山音頭の踊り手を育成できないか

幼稚園児・小学校低学年に検討

赤沼池ノ島の沼の路肩陥没について

**問** 池ノ島の沼の陥没は、沼の周りのコンクリート擁壁と、蛇かごの間がえぐられて陥没しているの、事故が起こる前に工事できないか。

**答** 沼の水を抜いて、陥没状況を確認して、対応を早急にする。

赤沼集落センター改修工事について

**問** 平成29年度の赤沼集落センター床改修工事の申請は、どうなっているか。

**答** 鳩山町コミュニティ施設特別整備事業補助金交付要綱に基づき、毎年5月に開催している鳩山町コミュニティ推進協議会総会で説明をして、予算措置が必要となることから9月末までに、要望頂くよう推進協議会にお願いをした。

赤沼集落センターの床改修工事については、平成31年度に実施予定。

納涼夏祭りについて

**問** 納涼夏祭りも毎年多くの町民が参加をして、

賑やかに開催されている。踊り手が年々少なくなっているように感じるが、町の考えは。

**答** 踊り手が年々減少していることをはじめ、準備にかかる役員の負担が大きいなど、指摘をされており、町としても、今後の課題と認識している。

**問** 鳩山町唯一の「新鳩山音頭」の踊れる人を育ててもらいたい、町の考えは。

**答** 昔は各地区に婦人会があつて、各地区でその人たちが教えていたが、今は無理なので、幼稚園児や、小学校低学年に、覚えてもらうことも検討する。



納涼夏まつり盆踊り